

財団法人日本アレルギー

協会関東支部

〒102-0074

東京都千代田区九段南 4-5-11

富士ビル4階

TEL 03-3222-3437

FAX 03-3222-3438

ホームページ

http://www.jaanet.org/aboutus/4_index_

[msg.html](http://www.jaanet.org/aboutus/4_index_)

関 東 支 部

だ よ り

第7号(2010年1月発行)

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

昨年は長引く不況、政権交代、新型インフルエンザの流行など大きな出来事が続きました。

当関東支部では、会員皆様のご協力でアレルギー週間での市民講座の開催、研究支援、患者団体支援等の活動をおこなうことができました。本年度も引き続き、同様の活動をおこなう予定ですので、よろしくお願いたします。

さて、日本アレルギー協会は現在、厚生労働省の認可による財団法人ですが、昨年12月に新しい制度による公益財団法人の認定申請をおこないました。新公益財団法人は内閣府の認定を受ける必要があり、認定されて発足すれば、これまで以上に公益的活動が求められることとなります。

昨年後半に、新しい公益財団法人認定申請のための理事、評議員選出が各支部で、正会員によって行われました。ご投票へのご協力に感謝いたします(その結果は、まとめて当紙第12頁に掲載してあります)。新公益財団法人発足まで現役員の体制で諸事業をおこないますが、発足後は定款により理事、評議員の数が激減いたします。そこで、これまで以上の活動をすすめるために、宮本理事長のご示唆で「支部評議員」の制度を設ける予定です。発足後の諸体制については、7月開催予定の役員会で検討の予定です。

本号は半年毎に発行していますが、早くも第7号となりました。

今回のトピックスとして 独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センター 森 晶夫先生に昨年12月にアルゼンチンで開催された国際アレルギー学会(WAO)2009の報告をしていただきました。

尚、一部、行事予定資料の関係で発行が遅れたことをお断りします。

不況下で重苦しい雰囲気ではありますが、本年も当支部を含め日本アレルギー協会の活動のため会員皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

では皆様、本年もお元気でご活躍ください。

関東支部長 伊藤 幸治

本号の目次		頁
1. 新年ご挨拶	支部長	1~2
2. トピックス 国際アレルギー学会(WAO)報告	森 晶夫	3~5
3. アレルギー協会主催・共催・後援の講演会 (山梨、長野県を含む関東地区2010年1~7月)		6
4. 患者団体講演会、集会(同)		7~9
5. 社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会 (関連学会と日本アレルギー学会)(2010年1~7月)		9
6. 社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会・講習会・研究会 (山梨、長野県を含む関東地区2010年1~7月)		10~12
7. 公益財団法人認定申請のための理事、監事、評議員		12
8. 関東支部役員会議事録(平成21年7月28日)		13~14
9. 平成21年度地区別役員業務分担表、関東支部役員業務分担		15

2. トピックス

国際アレルギー学会 (WAO) 2009 報告

独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センター

森 晶夫

国際アレルギー学会 (WAO) 2009 は、2009 年 12 月 6-10 日、ブエノスアイレス (アルゼンチン) にて開催された。会長はカノニカ教授 (イタリア)、組織委員長がブエナ・カグナニ教授 (アルゼンチン) とラテン系の特色のためか、欧米やアジアでの学会開催時には細かいところまでホスピタリティーが行き届いて、いかにも well organized と評されてきた学会とは一風違った運営であったが、それはそれでなかなかおおらかでよかったという印象である。6 日には、前回に引き続いて免疫療法をトピックとする 2nd International Immunotherapy day と称し、従来法の皮下注射法による免疫療法および舌下免疫療法の plenary symposium が丸一日の日程で企画されていた。免疫療法は、効果が薬物療法に劣るとする意見も一部にあるものの、アレルギー疾患の治癒をめざすには最重要課題と捉えられている。10 日には、小児喘息、鼻炎・副鼻腔炎、食物アレルギーの 3 つの並行シンポジウムのみが組まれていた。そのため、通常の学会プログラムは 3 日間に圧縮され、並行プログラムが多く、昼食時間がとれないなど、せわしい運営になっていた。ここでは紙面の都合上大勢の注目を集めていたいくつかのトピックをご紹介します。

まず、「アトピー性皮膚炎 1」と称するシンポジウムは、2 日目の朝一番のプログラムにも拘わらず聴衆が部屋に入りきらなかった。従来から、病因論は皮膚のバリア異常か、全身性の免疫異常かという議論になっていたが、近年 filaggrin 遺伝子変異が指摘され、バリア異常が原因となって、atopic な感作が結果として生じるとの議論が勢いを増していた。24 論文のメタ解析の結果として、症例・対照研究ではオッズ比 (OR) 4.78、家族研究では OR 1.99 と、filaggrin 遺伝子変異はアトピー性皮膚炎のリスクを有意に増大する。ただし、喘息に対しては、アトピー性皮膚炎

を発症したひとのみ、リスクが増すが(OR 2.79)、アトピー性皮膚炎を発症していない場合には、リスクは増大しない。filaggrin 遺伝子変異は、重症なヘルペスウイルス感染(Eczema herpeticum)の危険因子である。filaggrin 遺伝子変異は一般人口の8-10%と高率であるにもかかわらず、浸透率が低く、アトピー性皮膚炎患者の20-30%しか変異を持たないことや、変異を有する症例と持たない症例の表現型の違いが明らかでないことなどが、課題としてあげられていた。他にアトピー性皮膚炎に関連する遺伝子異常としては、自然免疫系(NOD、CARD 他)、獲得免疫系(FcεRI 他)、機能が不明のもの(11q13、EMSY 他)がある。一方、遺伝因子以外にも、両親の離婚・別居がOR 3.59と報告され(LISA study, Allergy 2009)、filaggrin 遺伝子変異はこれまでに報告された遺伝因子のなかでは、最も影響の大きい因子ではあるが、アトピー性皮膚炎の危険因子としては、当初の熱狂ほどに大きいものではないと認識され始めている。

大きなインパクトを持つアナウンスメントとして、NIHの米国心肺血液研究所喘息フェノタイプレポートと題する特別セッションが8日昼に行われた。喘息とは一つの疾患というよりは、むしろ症候群であると従来より言われていたが、近年、病因論、薬効、患者マネジメント、臨床試験などのさまざまなレベルで、喘息のフェノタイプを明らかにし、各々区別する必要性が認識されてきた。そこで、NIHや、米国アレルギー学会、米国呼吸器学会、欧州呼吸器学会などが連携して、喘息フェノタイプの作業部会を構成した。フェノタイプを定義することにより、さまざまな喘息研究がどういった対象を基に行われたかを、現在より明確に把握でき、研究間の差違をより語るメリットが考えられる。まず、以下の9つのフェノタイプが定義された。トリガーとなる因子により、1.感染により誘導される喘息、2.運動誘発喘息、3.アレルギー性喘息、4.非アレルギー性喘息、5.アスピリン喘息、臨床像により、6.幼児の前喘息期喘鳴、7.増悪をおこしやすい喘息、8.不可逆的气流閉塞を伴う喘息、炎症マーカーより、9.好酸球性および好中球性喘息、

を規定しようという試みである。それぞれのフェノタイプ毎に、定義、患者像、遺伝要因、臨床的特徴、合併症、検査データ、バイオマーカー、マネージメント、研究上の課題等が整理され、報告された。近々、最終報告の形で web 上に掲載される予定とのことである。改めてそう言われてみると、診療の現場では、フェノタイプ毎に症例の顔が浮かぶし、検査、治療内容をそのフェノタイプ毎に調整しているという専門医は多いのではないかと思われるが、実際に、言葉でフェノタイプを定義するのはなかなか困難な作業であろうと想像される。むろん、これらの9つのフェノタイプにはオーバーラップもあるし、すべてを網羅できているわけでもないが、今後さらに発展してゆくべき概念と考えられる。

他にも興味深いセッションとしては、英国のカスタビッチ教授(賛成)とバーンズ教授(反対)による「喘息はアレルギー疾患か?」、米国のネルソン教授(賛成)とオランダのラベ教授(反対)による「喘息における免疫療法は有効か?」との刺激的なタイトルを冠するディベートが企画されていて、著名教授が賛成・反対の立場に分かれ、熱い議論が戦わされた。聴衆もおおいに盛り上がっていた。当然視されている命題にも、EBM の見地からは明らかになっていることと、明らかではないこととがあり、専門医の立場としては日常診療の場で推奨するには改めて注意が喚起される。この2点に関しては、ディベートとして成立する位なので、どちらという決着には至っていないのが現状だが、両方のセッションで触れられたのは、ハウスダスト(ダニ)アレルギーに対する環境介入が、喘息コントロールを好転しない(できない)という点は、複数のメタ解析で認められている(カスタビッチ教授によると、タバコを1日50本吸っているのを、49本にしたらよくなりますかと言っているようなものだそう)

次回の国際アレルギー学会は、2011年メキシコのカリブ海沿いの保養地カンクーンで開催される。

3. アレルギー協会主催・共催・後援の講演会（山梨、長野県を含む関東地区 2010年1~7月）

* 一般向け

主催・共催 ・後援の別	日 時	テーマ・内容	場 所	主 催 者
主催*	2月20日(土) 13:00-17:00	第16回アレルギー週間中央講演会 ～アレルギーの克服に向けて～ 「アレルギー疾患の予防と治療、自己管理を含め」 講演とパネルディスカッション 西岡 清(総司会) 勝沼俊雄(小児喘息) 後藤 稔(アレルギー性鼻炎) 池澤善郎(食物アレルギー) 関東裕美(アトピー性皮膚炎) 足立 満(成人喘息): パネルディスカッションのみ	ヤクルトホール 港区東新橋1-1-19 JR新橋駅徒歩6分 都営浅草線新橋駅1番出口徒歩1分 都営大江戸線汐留駅徒歩5分 東京メトロ銀座線 新橋駅2番出口徒歩2分 ゆりかもめ新橋駅徒歩3分	日本アレルギー協会 <u>要申込</u> 参加申し込み方法は日本アレルギー協会 ホームページ参照 お問い合わせ先: 第16回アレルギー週間中央講演会事務局 TEL 03-5159-7750 FAX 03-5159-7760 E-mail:allergy@jc.inc.co.jp
主催*	2月7日(日) 14:00-16:00	山梨アレルギー市民フォーラム2010 講演内容 眼科領域のアレルギー疾患について 花粉症について アトピー性皮膚炎について 気管支喘息について 食物アレルギーについて	山梨大学医学部 臨床小講堂	日本アレルギー協会 (山梨地区責任者 増山 敬祐)
主催*	2月13日(土) 13:00-15:45	アレルギー週間市民公開講座2010 講演内容 アトピー性皮膚炎 気管支喘息 スギ花粉症 公開質問	川口総合文化センター・リリア「11階大・中会議室」	日本アレルギー協会 (埼玉地区責任者 永田 真)
主催*	2月21日(日) 14:00-16:00	アレルギー患者相談会 「アレルギー疾患の予防、治療法をより良く知るために」 講演内容 食物アレルギーの実態と診断、治療法について 個別相談	横浜新都市ビル(そごう)9階市民フロア ミーティングルーム	日本アレルギー協会 (神奈川地区責任者 秋山 一男)
主催*	2月27日(土) 12:00-15:25	千葉ブロック東部地区市民公開講座 「アレルギー・アトピーの克服に向けて～こどものアレルギーを考えよう～」 講演内容 アトピー性皮膚炎のかゆみ対策 食物アレルギーについて 質問コーナー	成田市保健福祉館	日本アレルギー協会 (千葉地区責任者 富岡 玖夫)

4. 患者団体講演会、集会（山梨、長野県を含む関東地区 2010年1~7月）

会員以外の方でも自由に参加できます

日 時	会 名	会 場	主催団体、連絡先
1月31日(日) 12:20~16:45	「専門家と熟練患者(EP)が答える大相談会 5 ~気になるセキ、長引くセキには原因が あります~」 講演1「新型インフルエンザって何?~今 回の流行から予防対策を学ぼう!」浦島充 佳(東京慈恵会医科大学大学院医学研究科 准教授、分子疫学研究室室長) 講演2「ぜんそくの治療は変わったの?~ 最新の考え方を身につけよう!」 秋山一男(国立病院機構 相模原病院院長) 講演3「息切れはありませんか?~肺年齢 を測って、知って健康に!」 相澤久道(久留米大学医学部第一内科教授、 呼吸器・神経・膠原病内科部門センター長) 大相談会 (事前申込:必要)	都市センターホテル 5F オリオン スパル ほか 東京都千代田区平河2-4-1 TEL 03-3265-8211 FAX 03-3262-1705	NPO 法人環境汚染等から呼 吸器病患者を守る会(通称:エ パレク)事務局 http://eparec.com/ E-mail: office@eparec.com TEL 03-6804-4161
2月11日(木・祝日) 13:00~16:00	「アレルギーの最新情報」齋藤博久(国立 成育医療センター研究所免疫アレルギー研 究部部長) (その他の演者・未定)	青山こどもの城: http://www.kodomon-shiro.o r.jp 渋谷区/表参道駅下車すぐ	NPO 法人アレルギー児を支 える全国ネット「アラジーポ ット」 http://www.allergypot.net E-mail: info@allergypot.net TEL 090-4728-5421
2月21日(日) 10:00~13:00	第4回「アナフィラキシー親子のための行 列のできる懇談会」 今井孝成(国立病院機構相模原病院小児科 医師)、長谷川実穂(同臨床研究センター研 究栄養士) ・先着30名、資料代等実費500円 ・エピペンを使った体験談もあります。	ヨコハマジャスト1号館 8F 会議室3号室 横浜市西区高島2-12-6 TEL 045-441-8857 JR 横浜駅東口徒歩3分	NPO 法人アレルギーを考 える母の会 FAX 045-362-3106 E-mail: m-sonobe@cf6.so-net. ne.jp ホームページ開設準備中 (http://allergy.hahanokai.jp /)
2月27(土)~28日(日) 13:00~16:00 27日(土)ぜんそく 28日(日)アトピー性 皮膚炎	第16回アレルギー週間協賛行事: ぜんそ く・アトピー性皮膚炎実践講座及び交流会 (事前申込:必要)	NPO 法人日本アレルギー友の 会事務所(都営新宿線・半蔵門 線住吉駅、JR 錦糸町駅より都 バス「住吉駅前」下車徒歩3分)	NPO 法人日本アレルギー友 の会 TEL 03-3634-0865 (毎週火・土曜日 11:00 ~ 16:00) FAX 03-3634-0850 E-mail: j-allergy@nifty.com http://www.allergy.gr.jp/

5月23日(日) ぜんそく・アトピーの講演会とQ&A 12:30~16:00(予定))	講演会とQ&A ぜんそく・アトピー最新治療 「アトピー」「成人ぜんそく」「小児アレルギー」3名の専門医を講師に迎えて講演会。 「Q&A」坂本芳雄(関東中央病院呼吸器アレルギー内科部長)江藤隆史(東京逡信病院皮膚科部長) (事前申込:必要)	東医健保会館(東京都新宿区) TEL 03-3353-4311 JR 信濃町駅下車徒歩5分	NPO 法人日本アレルギー友の会 TEL 03-3634-0865 (毎週火・土曜日 11:00~16:00) FAX 03-3634-0850 E-mail:j-allergy@nifty.com http://www.allergy.gr.jp/
5月から6月初旬の予定	講演会&医療相談会: (講師等、未定) (事前申込:必要)	国立病院機構相模原病院 臨床研究センター3F研修室 小田急線「小田急相模原」駅下車徒歩10分	国立病院機構相模原病院アレルギーの会 http://allergy-net.web.infoseek.co.jp/kanja/ E-mail:allergy-net@jcom.home.ne.jp 事務局 TEL 080-4075-5723(北島)
5月セミナー予定	(未定) (事前申込:必要)	(未定)	NPO 法人環境汚染等から呼吸器病患者を守る会(通称:エパレク)事務局 http://eparec.com/ E-mail: office@eparec.com TEL 03-6804-4161
毎月第2土曜日 1月と8月はお休み。 13:00~16:00 (月によって変更の場合がありますので、参加希望の方はエパレクHPをご覧ください)	ぜん息を自己管理するための学習会 (事前申込:必要)	港区高輪コミュニティーぷらざ内3階 高輪区民センター 地下鉄南北線・三田線「白金高輪」駅下車、1番出口 (駅の真上です。)	NPO 法人環境汚染等から呼吸器病患者を守る会(通称:エパレク)事務局 http://eparec.com/ E-mail:office@eparec.com TEL 03-6804-4161
毎月第3土曜日(祝日を除く) 13:00~15:00	患者交流会(ぜんそく・アトピー性皮膚炎) 当会ベテラン患者相談員が相談に応じます。 (事前申込:必要)	NPO 法人日本アレルギー友の会事務所(都営新宿線・半蔵門線住吉駅、JR 錦糸町駅より都バス「住吉駅前」下車徒歩3分)	NPO 法人日本アレルギー友の会 TEL 03-3634-0865 (毎週火・土曜日 11:00~16:00) FAX 03-3634-0850 http://www.allergy.gr.jp/ E-mail:j-allergy@nifty.com

毎月第4火曜日(祝日も開催) 10:00~12:30	アレルギー相談・患者交流会 「ちょっと chat の会」 どなたでもお気軽に。出入り自由です。 (事前申込:不要)	神奈川県民センター 15階セルフヘルプ相談室1 (「横浜」駅西口徒歩5分 横浜市鶴屋町2-24-2) TEL045-312-1121(内 3501) FAX 相談 045-312-6307	NPO 法人アレルギーを考える母の会 FAX 045-362-3106 E-mail:m-sonobe@cf6.so-net.ne.jp ホームページ開設準備中 http://allergy.hahanokai.jp/
毎月1回・不定期 (HPでお知らせします) 9:30~11:30	しゃべり場/自由が丘: 入退場は自由。初歩的質問、大歓迎です。 (事前申込:不要)	目黒区緑ヶ丘文化会館第2研修室(変更あり)	NPO 法人アレルギー児を支える全国ネット「アラジーポット」 http://www.allergypot.net E-mail:info@allergypot.net TEL 090-4728-5421

5. 社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会(関連学会と日本アレルギー学会)

(2010年1~7月)

以下は社団法人日本アレルギー学会の許可を得て、同会誌「アレルギー」2009年12月号(58巻12号)1686-1697頁、会報「専門医制度情報 社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会・講習会・研究会開催予定(2010年・国内)より1~7月の関連学会(*)と日本アレルギー学会のみ抜粋して掲載した。

28*	日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	2月18日(木)~20日(土)	AOSSA	(大会事務局) 福井大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 福井県吉田郡永平寺町松岡 下合月23-3	藤枝重治 0776-61-8407
54*	日本リウマチ学会総会・学術集会	4月22日(木)~25日(日)	神戸ポートピアホテル	神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 兵庫県神戸市中央区楠町 7-5-1	塩沢俊一 078-382-5680
50*	日本呼吸器学会学術講演会	4月23日(金)~25日(日)	国立京都国際会館	信州大学医学部内科学第一講座 長野県松本市旭3-1-1	久保恵嗣
22	日本アレルギー学会春季臨床大会	5月8日(土)~9日(日)	国立京都国際会館	大阪医科大学 (大会事務局) 京都府京都市下京区木屋町 通り松原上る美濃屋町178 カンファレンスサロンまゆ ーせ内 TEL:075-212-0692	竹中 洋
27*	日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会	5月29日(土)~30日(日)	学術総合センター	国立成育医療センター 東京都江東区有明 3-1-22-9階	赤澤 晃 03-3416-0181
41*	日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会	7月16日(金)~17日(土)	高崎ビューホテル	群馬大学医学部保健学科 群馬県前橋市昭和町3-39-15	土橋邦生 027-220-8944

6. 社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会・講習会・研究会（* 関連学会）

（山梨、長野県を含む関東地区 2010年1月~7月）

以下は社団法人日本アレルギー学会の許可を得て、同会誌「アレルギー」2009年12月号（58巻12号）1686-1697頁、会報「専門医制度情報 社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会・講習会・研究会開催予定（2010年・国内）より山梨、長野県を含む関東地区1~7月分を抜粋して転載した。（*は関連学会）

回	会名	会期	会場	担当施設・連絡先	会長
56	関東耳鼻咽喉科アレルギー懇話会	1月17日(日) 14:00~17:00	日本教育会館	東京慈恵会医科大学附属柏病院 耳鼻咽喉科 千葉県柏市柏下163-1	今井 透 04-7164-1111
8	アレルギー性鼻炎フォーラム2010	1月23日(土) 16:00~18:00	ホテルニューオータニ 鶴西の間	新橋アレルギーリウマチ クリニック 東京都港区新橋16-1 ニュー新橋ビル318	奥田 稔 03-3591-5464
63	横浜市アレルギー懇話会	1月27日(水) 19:00~20:30	崎陽軒本店	(事務局) 国立病院機構横浜医療センター 小児科(菅井和子) 神奈川県横浜市戸塚区原宿 3-60-2 TEL:045-851-2621	池澤善郎
6	埼玉アレルギー性鼻炎フォーラム	2月4日(木) 18:50~21:10	浦和ロイヤルパインズホテル	獨協医科大学越谷病院耳鼻咽喉科 埼玉県越谷市南越谷2-1-50	渡邊建介 048-965-1111
18	城東地区小児アレルギー懇話会	2月6日(土) 17:00~19:00	浅草ビューホテル	東京家政大学児童学科小児医学 研究室 東京都板橋区加賀1-18-1	岩田 力 03-3961-5381
10	食物アレルギー研究会	2月13日(土)	昭和大学上條講堂	国立病院機構相模原病院臨床研究センターアレルギー性疾患研究部 神奈川県相模原市桜台18-1	海老澤元宏 042-742-8311
8	横浜小児アレルギー研究会	2月17日(水) 19:00~21:00	崎陽軒本店	神奈川県立こども医療センターアレルギー科 神奈川県横浜市南区六ツ川 2-138-4	栗原和幸 045-711-2351
18	関東アレルギークラブ	2月20日(土) 14:30~	如水会館	昭和大学藤が丘病院呼吸器内科 神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30	(当番世話人) 國分二三男 045-971-1151
35	埼玉喘息・アレルギー研究会	2月27日(土) 14:40~18:25	埼玉県県民健康センター	自治医科大学附属さいたま医療センター呼吸器科 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847	小山信一郎 048-647-2111

18	長野県気管支喘息研究会	2月27日(土) 15:00~17:30	ホテル国際21	信州大学医学部内科学第一講座 長野県松本市旭 3-1-1	久保恵嗣 0263-37-2629
71	小児アレルギー同好会	3月6日(土)	ホテルグランドパレス	日本大学練馬光が丘病院 東京都練馬区光が丘 2-11-1	橋本光司
26	多摩小児アレルギー臨床懇話会	3月6日(土) 15:00~18:00	日本医科大学附属多摩永山病院 C棟2階集会室	山口小児クリニック 東京都町田市野津田町 1364	飛田正俊
7	日本喘息・COPD フォーラム/ Japan Asthma COPD Management Forum (JASCOM)	3月6日(土) 15:00~18:00	東京プリンスホテル	JASCOM 事務局 東京都渋谷区桜丘町 2-9 カサヤビル 1F(株)ブラップジャパン内 TEL:03-3486-5961	
	リウマチ・アレルギーシンポジウム	3月6日(土) 13:00~16:30	星陵会館(永田町)	財団法人日本予防医学協会(市川英一) 東京都江東区毛利 1-19-10	(理事長) 濱田洋一 03-3635-1153
7	西関東アレルギーカンファレンス	3月13日(土) 15:00	東京京王プラザホテル(予定)	山梨大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科講座 山梨県中央市下河東 1110	増山敬祐 (山梨大学) (事務局) 野間 剛 (北里大学)
8	信州喘息・COPD勉強会	3月27日(土) 17:30~19:30	ホテルメトロポリタン長野	信州大学医学部内科学第一講座 長野県松本市旭 3-1-1	久保恵嗣 0263-37-2629
6	Airway Club 埼玉	4月1日(木) 19:00~21:00	大宮パレスホテル	(事務局) 獨協医科大学越谷病院呼吸器内科・耳鼻咽喉科 埼玉県越谷市南越谷 2-1-50	(代表者) 一和多俊男 三輪正人 048-965-1111
5	城南小児アレルギー懇話会	4月8日(木)	目黒雅叙園	(事務) (財)東京都保健医療公社荏原病院小児科(松井猛彦) 東京都大田区東雪谷 4-5-10 TEL:03-5734-8000	板橋家頭夫 (昭和大学小児科) 03-3784-8000
27*	日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会	5月29日(土) ~30日(日)	学術総合センター	国立成育医療センター 東京都江東区有明 3-1-22-9階	赤澤 晃 03-3416-0181
11	小児免疫リウマチ研究会	6月4日(金) 18:30	八重洲富士屋ホテル	越谷市立病院 埼玉県越谷市東越谷 10-47-1	(当番世話人) 新妻隆広 (越谷市立病院)
65	臨床アレルギー研究会(関東)	6月12日(土) 13:00-	富国生命ビル	(事務局代行) 横川大泉 東京都千代田区内幸町 2-2-2 03-3591-0181	土橋邦生 027-220-8944

24	アレルギー・好酸球研究会 2010	6月19日(土) 9:00~17:00 (予定)	大手町サンケイ プラザ	(事務局分室) 東京都港区赤坂 2-20-2 ベル赤 坂 1 階 (株) グラフティ内 TEL:03-3583-1740	永田 眞 (埼玉医科大学 医学部呼吸器内 科)
19	小児臨床アレルギー懇談会	6月26日(土) 16:00~18:00	京葉銀行文化交 流プラザ	千葉大学小児科 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1	下条直樹 043-226-2144
7	お茶の水小児アレルギー研究会	6月 18:30	(未定)	(未定)	野間 剛 042-778-8111
32	臨床アレルギー懇話会	6月(未定)	東京慈恵会医科 大学南講堂(予 定)	(未定)	桑野和善 03-3411-1111
20	国際喘息学会日本北アジア部会	7月2日(金) ~3日(土)	京王プラザホテ ル	独立行政法人国立病院機構相模 原病院	秋山一男
15	ラテックスアレルギー研究会	7月11日(日)	横浜ナビオス	横浜市立大学医学部皮膚科学 (高橋一夫) 神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9	池澤善郎 045-787-2800

7. 公益財団法人認定申請のための理事、監事、評議員

支部	理事	評議員
北海道	大野 重昭(支部長)	有賀 正
東北	田村 弦(支部長) 山内 広平	高梨 信吾、棟方 充
北関東	福田 健(支部長)	土橋 邦生
関東	宮本 昭正(理事長) 伊藤 幸治(支部長) 秋山 一男、足立 満	大久保公裕、大田 健 岡本 美孝、西牟田敏之
東海	高木 健三(支部長)	近藤 直実
北陸	眞弓 光文(支部長)	藤村 政樹
関西	川瀬 一郎(支部長) 東田 有智	末廣 豊、竹中 洋
中国	高橋 清(支部長)	秀 道広
四国	曾根 三郎(支部長)	大串 文隆
九州	西間 三馨(支部長)	相澤 久道
本部	今村 聡、マーク・デュノワイエ	
	監事 池澤 善郎、河野 陽一	

ほかに評議員選定委員会委員として関東支部より 森田 寛

8 . 関東支部役員会議事録 (資料は省略。関東支部ホームページをご覧ください)

1 日時 平成 21 年 7 月 28 日 (火) 18 時 30 分から 20 時

2 場所 LEVEL XXVI 東京会館

3 出席者 伊藤 幸治 秋山 一男 足立 満 坂本 芳雄
増山 敬祐 眞野 健次 溝口 昌子 森田 寛
山口 正雄

4 議長 支部長 伊藤 幸治

支部長から、幹事 25 名中出席者は 9 名、欠席者は 16 名、うち 14 名より委任状をいただいているので、会議は成立する旨の発言があった。

5 議事

I 報告事項

(1)公益財団法人認定申請のための理事選挙結果報告

支部長から、資料 1 に基づき関東支部選出理事選挙結果の報告があった。

事務局から、今後の予定として明日の評議員会で理事 17 名の選任後に理事による理事長選挙、関東支部長選挙、評議員選挙をおこないたいという補足説明があった。

支部長から評議員の選挙は理事と同じ方式で行いたい、また支部長の選挙は、前回は役員会 25 名を選挙人とし、理事を被選挙人として行ったが、その他の決め方として正会員による選挙、理事の間での話し合い等があり、E-mail 審議で語りたいという補足説明があった。

(2)理事会報告

支部長から、資料 2 に基づいて第 16 回アレルギー週間行事の計画についての説明があった。

(3)研究助成の際の倫理規定

支部長から、昨年の関東支部定例役員会での研究助成の際の倫理規定につき種々、議論されたが、その後、定例理事会で、ご担当の秋山先生からの提案による倫理委員会規程が審議され、承認されたと報告があり、資料 3 に基づいて説明があった。

秋山先生から、自施設で倫理委員会を通している場合にはこの日本アレルギー協会規程を使うことなく、開業の先生が研究助成の申請をする際に身近に倫理委員会がない場合に、日本アレルギー協会の倫理委員会にかけていただくことになっている。常設ではなく申請があった時にその都度、組織することになるという説明があった。

そこで、関東支部でもこれに従うことにした。

II 審議事項

(1)平成 20 年度事業概要報告

支部長から資料 4 に基づいて説明があり、全員に承認された。

(2)平成 20 年度収支決算報告

事務局から資料 5 に基づいて説明があり、全員に承認された。

寄付金より研究助成費が多いのは、前年度末に約 5 百万円の寄付金を受け取り、この年度で研究を委託したためである。その関係で前期より繰越額に比べて次期へ繰り越しが大幅に減少した。

また、内部留保率は、定期預金が 2 千万円あるため率が高い。

斎藤博久先生から監査報告書をいただいたので出席者に回覧した。

(3)平成 21 年度事業計画

支部長から資料 6 に基づいて説明があり、全員に承認された。

(4)平成 21 年度収支予算

事務局から資料 7 に基づいて説明があり、全員に承認された。

(5)平成 21 年度役割分担

支部長から資料 8 について説明があり、以下が審議され、承認された。

(ア) 業務分担については全員留任をお願いすることにする。理事長から各支部役員会の構成や運営は自主性に任されているが、公益財団法人への移行の時期であるので来年の定例役員会で役員会の構成、業務分担等を見直すこととする。

(イ) 地区責任者については、これまで役員会で特に異論がなければ留任としてきたが、富岡先生（本日ご欠席）より支部長あてに地区責任者の決定ルールにつき審議してほしいとご提案があり、審議した。

1)地区責任者について

関東支部役員会で決定することとするが、その決定ルールとして

複数の委員がおられる地区では地区委員間の協議で選んでいただき、支部長より依頼する。

地区委員が一人の場合には支部長がその委員に依頼する。

以上の点が了承された。

2)地区の再編成について

佐野先生、鈴木先生、山口先生のご異動で、担当地区の変更が必要である。さらに、東京 6 地区のうち、昨年度のアレルギー週間中に一般向けの行事が開催されたのは城南地区のみであったので、出席役員より、この際、地区割りを見直すべきとの意見があった。そこで、地区数を協議したところ、東京を 1 地区としてまとめるよりは、広領域の東京をいくつかの地域に分け、人材を募って行事開催に努力してもらおう、ということにして 中央・城東地区、城西・城南地区、城北・多摩地区の 3 地域とした。また役員でまだ地区委員に入っていない人もあるので、加わっていただくことにした。

3)地区責任者の選任

上記 1)、2)に従い以下のように協議した。

東京都中央・城東地区をまとめて佐野靖之先生をお願いする方針とする。

城西・城南地区をまとめて足立満先生をお願いする。

城北・多摩地区をまとめて大田健先生をお願いする方針とする。

千葉県地区（本日は全委員ご欠席）は 4 名の委員の協議で選んでいただく。

神奈川県地区は秋山一男先生をお願いする。

埼玉県地区は永田真先生をお願いする方針とする。

山梨県地区は増山敬祐先生をお願いする。

長野県地区は久保恵嗣先生をお願いする方針とする。

ご出席の先生からご就任のご了承が得られ、ご欠席の先生には支部長より依頼状を送ることにした。

4)各委員の所属地区はアレルギー週間行事を開催する便宜から、委員の居住地区ではなく、勤務先、退職の場合は旧勤務先の地区、とする。

III その他

(1)平成 20 年度個人会員状況

事務局から資料 9 に基づいて説明があった。

(2)関東支部だよりの発行について

支部長から次のような説明があった。

6 月に第 6 号を発行した。メーカーからの広告を募って、作成費にあててはどうかという意見があったが煩雑なので、従来通り発行している。新体制になった際に検討する。

以上を以って議事を終了し、支部役員会は閉会となった。

9. 平成 21 年度地区別役員業務分担表

都県、地区	担当地域	地区責任者 (研修会責任者)	啓発活動委員会委員(アレルギー週間地区委員)	支部 JAANet 編集委員
関東支部	関東全域			永田 真
東京 中央・城東地区	千代田区、中央区、港区、 文京区、足立区、千代田 区、葛飾区、江東区、墨 田区	佐野 靖之	佐野 靖之 森田 寛	
東京 城西・城南地区	新宿区、杉並区、豊島区、 中野区、大田区、渋谷区 品川区、世田谷区、目黒 区	足立 満	足立 満 斎藤 博久 坂本 芳雄	斎藤 博久
東京 城北・多摩地区	荒川区、板橋区、北区、 台東区、練馬区、 東京都 23 区以外の市町 村	大田 健	大田 健 塩原 哲夫 鈴木 直仁 山口 正雄	森田 寛
埼玉県	埼玉県全域	永田 真	永田 真	倉島 一喜
千葉県	千葉県全域	富岡 玖夫	富岡 玖夫 岩本 逸夫 岡本 美孝 河野 陽一	岩本 逸夫
神奈川県	神奈川県全域	秋山 一男	秋山 一男 海老澤元宏 栗原 和幸 溝口 昌子	長谷川真紀
山梨県	山梨県全域	増山 敬祐	増山 敬祐	松崎 全成
長野県	長野県全域	久保 恵嗣	久保 恵嗣	藤本 圭作

平成 21 年度関東支部役員業務分担 (委員長、 副委員長)

学術講習委員会	研究助成委員会		関東支部だより編集委員会	庶務・会計
	委員会	審査部会		
富岡 玖夫 足立 満 秋山 一男 坂本 芳雄 佐野 靖之 塩原 哲夫 鈴木 直仁 増山 敬祐	溝口 昌子 秋山 一男 足立 満 伊藤 幸治 大田 健 岡本 美孝 河野 陽一 久保 恵嗣 栗原 和幸 富岡 玖夫 森田 寛 山口 正雄	溝口 昌子 秋山 一男 足立 満 伊藤 幸治 岡本 美孝 富岡 玖夫	伊藤 幸治 山口 正雄	斎藤 博久